

連携会員、協力学術研究団体 各位

日本学術会議第190回総会のご報告

日本学術会議事務局

平素より大変お世話になっております。

12月9日に日本学術会議第190回総会を開催しました。

総会では、声明「日本学術会議のより良い役割発揮に向けた基本的考え方 ―自由な発想を活かした、しなやかな発展のための協議に向けて―」が承認され、学術会議ホームページにおいて公表いたしましたので、ご報告いたします。

また、総会終了後、記者会見を行い、総会の概要についてご説明いたしました。総会及び記者会見で配布した資料は、日本学術会議のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。なお、光石衛会長の挨拶は、下記のとおりです。

○声明「日本学術会議のより良い役割発揮に向けた基本的考え方 ―自由な発想を活かした、しなやかな発展のための協議に向けて―」

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-26-s190-s.pdf>

○日本学術会議第190回総会配布資料

<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/sokai/siryoy190.html>

○第26期記者会見資料（12月9日）

<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/kisyakaiken.html>

-----  
○記者会見冒頭の光石衛会長の挨拶

**【第190回総会】**

本日、第190回総会を日本学術会議講堂及びオンラインにて開催いたしました。日本学術会議の在り方について、大変活発な議論が行われました。

冒頭、私からはこれまでの経緯を説明し、続いて、内閣府から「法人化の場合の基本的な考え方」等について説明があり、会員との間で質疑応答が行われました。

休憩を挟んだ後半では、まず「アクションプラン骨子（案）」について説明及び意見交換を行いました。その後、声明（案）「日本学術会議のより良い役割発揮に向けた基本的考え方（案）―自由な発想を活かした、しなやかな発展のため

の協議に向けて」について議論し、幅広くご意見をいただき、会長一任となりました。

総会終了後に行われた幹事会において、声明（案）の修正について議論し、声明として取りまとめを行いました。声明については、お手元にお配りするとともに日本学術会議ホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

「アクションプラン」につきましては、今後、企画WGを立ち上げ、可能なものから具体化してまいりたいと思います。

今般の声明や、今回説明いたしました「アクションプラン」を踏まえて、今後、有識者懇談会における日本学術会議の在り方の検討に関し、私たちの考え方をしっかりお伝えしていきたいと考えています。

---